

1 策定の背景と目的

2009年に策定した「リニモ沿線地域づくり構想」で示した目指すべき将来像の実現に向けた指針である「リニモ沿線地域づくり重点プラン2016-2020」が目標年次を迎えることに加え、2022年秋のジブリパークの開業等沿線地域をとりまく状況の変化を踏まえ、県や沿線市をはじめとした多様な主体が取り組むべき新たな指針として「リニモ沿線地域づくり重点プラン2021-2025」を策定する。

2 策定主体

愛知県、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市

3 取組年次

2021年から2025年を取組年次とする。

4 対象地域

東部丘陵線（リニモ）9駅の周辺（概ね1km圏）及び「海上の森」とする。

なお、沿線地域を拠点に交流を促進することによる観光の推進も重要であることから、広域的な取組についても本プランに含めることとする。

5 重点プランの基本的な視点と3つのキーワード

2022年秋のジブリパークの開業に向けて、これまで取り組んできた「交流人口」の増加に資する取組をさらに強化し、パークの開業効果を沿線地域全体で受け止め、それを広く波及させることによりにぎわいの創出や地域活性化を図りつつ、これまで着実に進展してきた市街地整備に加え、まちの質を高めることによる、持続可能なまちづくりが必要となることから、本プランにおいては「何度も訪れたい沿線」、「住み続けたい沿線」、「誰もが使いやすい交通の実現」をキーワードとして設定し、取り組むべき施策を取りまとめる。

【沿線をとりまく状況】

- ・持続可能な開発目標（SDGs）の取組の広がり
- ・情報通信技術を活用した社会への変化
- ・まち・ひと・しごと創生による地域活性化の動き
- ・新たなモビリティサービスの社会実装に向けた取組
- ・リニア中央新幹線の開業を見据えた事業の推進
- ・ジブリパークの開業と観光振興
- ・大規模スポーツ大会の開催
- ・新型コロナウイルスの影響

本プランにおけるリニモ沿線地域づくりの3つのキーワード

ジブリパークを核とした地域の魅力向上による
「何度も訪れたい沿線」

充実した都市機能と自然環境が調和した
「住み続けたい沿線」

効率的で快適な移動を可能にする
「誰もが使いやすい交通の実現」

6 重点戦略と主要施策

重点プランの基本的な視点と3つのキーワードを踏まえ、「リニモ沿線地域づくり構想」に掲げる将来像の一層の具体化に向けた5つの「重点戦略」及び16の「主要施策」を設定する。

《リニモ沿線地域づくり構想に掲げる将来像》

愛・地球博の成果を 次世代産業の育成をリード リニモでつながる
継承・発展させ、SDGs する産学行政の研究開発エリア 「コンパクト」なまち
の達成を目指すまち



キーワード	重点戦略
ジブリパークを核とした地域の魅力向上による 「何度も訪れたい沿線」	<重点戦略1> 魅力向上によるにぎわいの創出、交流の促進 ジブリパークの開業効果をリニモ沿線地域全体に波及させるため、沿線地域が有する地域資源の磨き上げや来訪者を迎えるにあたってのおもてなし体制の整備を図る。 （主要施策） ① ジブリパークの整備とパークを核としたにぎわいの創出 ② ホスピタリティに溢れたおもてなし体制の整備 ③ 地域資源の活用による魅力向上 ④ 広域連携による観光の推進
	<重点戦略2> イノベーションの促進、次世代産業の育成 研究開発機能が集積するリニモ沿線地域においてスタートアップの推進や産学行政が連携した共同研究開発等に取り組み、次世代産業のさらなる振興を推進する。 （主要施策） ⑤ 次世代産業のさらなる振興に向けた人材育成、企業育成 ⑥ 先端研究開発や実証研究の推進
充実した都市機能と自然環境が調和した 「住み続けたい沿線」	<重点戦略3> 持続可能な集約型まちづくりと自然環境との共生 愛・地球博の理念・成果を継承し、「開発」と「保全」の調和したモデル的なまちづくりを継続しつつ、ICT等を活用した持続可能な集約型まちづくりに向けた取組を行う。 （主要施策） ⑦ 駅を中心とした概ね1km圏内の市街地整備の推進 ⑧ 藤が丘駅をはじめとした駅周辺の都市機能充実 ⑨ ICT等を活用したスマートシティの実現 ⑩ 自然環境の適切な維持管理と農あるくらしの推進 ⑪ 豊かな自然を活かした地域づくりと脱炭素・循環型社会に向けた取組
	<重点戦略4> 地域づくり活動の活性化 リニモテラス公益施設整備による住民・学生とのさらなる交流の促進、リニモの玄関口である藤が丘駅、八草駅周辺における住民主体のまちづくりの推進を図る。 （主要施策） ⑫ 沿線住民や沿線大学・学生及び民間事業者等と協働した地域づくり ⑬ 市民活動の活性化
効率的で快適な移動を可能にする 「誰もが使いやすい交通の実現」	<重点戦略5> 効率的で利便性の高い交通体系の構築 乗り継ぎ改善や渋滞対策に取り組むとともに、MaaSや自動運転といった新たなモビリティサービスの提供やフィーダー交通のより一層の充実に向けた取組を推進する。 （主要施策） ⑭ 公共交通の充実・利用促進 ⑮ 道路交通網の形成及び愛・地球博記念公園周辺道路の渋滞対策 ⑯ 新たなモビリティサービスの実現による移動の円滑化